



美瑛町そだちの教室通信  
12月号  
2022年11月28日



雪がちらつく季節になりました。本格的な冬も目前です。  
各学校の学習発表会（学芸会）も無事に終了したようですね。子どもたちの成長の一歩になったことでしょう。  
そうこうしている間に、2学期も残すところあと1ヶ月となりました。



### 面談（11月～12月）へのご協力ありがとうございます

11月～12月の面談が順調に進んでいます。次年度へ向けて引き継ぎシートの合意形成が、話の中心となっています。保護者の方々にはお忙しい中、そだちの教室まで足を運んでいただくことになりご負担をおかけしていますが、定期的に通級での様子をご家庭での様子を情報交換することは重要だと実感しているところです。今年度も1～2月に最後の面談を行い、支援計画の評価（R4）と計画（R5）を行います。（自校通級【東小児童】は三者面談【担任を交えて】になります。）ご理解のほど、よろしくお願いいたします。3学期スタート時に面談日程調整表をお渡しします。

お願い・・・これまで面談の際は、正面玄関を利用していただいていたのですが、そだちの教室のインターフォンが使用できるようになりましたので、次回からはそだちの教室玄関（学童玄関と共有）をご利用ください。よろしくお願いいたします。

### 12月 さんの通級予定 日程表 ※色のついている日が通級日です。

| 月                    | 火                 | 水  | 木                  | 金         |
|----------------------|-------------------|----|--------------------|-----------|
|                      |                   |    | 1                  | 2         |
| 5                    | 6                 | 7  | 8                  | 9         |
| 12                   | 13                | 14 | 15 参観日（高）<br>5校時休室 | 16 参観日（低） |
| 19                   | 20 2学期通級指導<br>最終日 | 21 | 22                 | 23 2学期終業式 |
| 26 冬季休業<br>(1月17日まで) | 27                | 28 | 29                 | 30        |

※3学期の通級指導は、1月19日（木）スタートです。

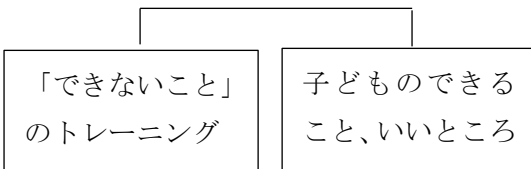
## 実行機能を伸ばすサポートを！

前回までは、実行機能についてお伝えしました。今回は、実行機能を伸ばすサポートについてお伝えします。実行機能が弱い子どもにはサポートが必要です。苦手なところに少しでもサポートがあれば、ものごとを完了させることができるでしょう。「自分にもできた」という達成感を得ることは実行機能を伸ばす原動力になります。

### 長所を見つけ、苦手なことを手助け

#### バランスのよいサポートをしよう

どうしても弱点を克服するトレーニングに重点をおきがちです。しかし、できるところを認めて伸ばすのも大切なサポート。2つのバランスをとるようにしましょう。



#### 長所を見つけよう

例) ソーシャルスキルがある  
消しゴムを忘れても、友達に「貸してもらえます？」と SOS を出せるので困らずにすむ。

本人が長所を見つけられたらベスト

例) タブレットが上手に使える  
予定の変更があっても、タブレット上にある TODO リストを見て確認すれば、混乱せずに対応できる。

### 特性の理解とサポートは表裏一体

大切なのは子どもを伸ばすためのサポートです。できないことを認め、子どもの気持ちやストレスを理解し、無理のないサポートを目指しましょう。子どもの自分で伸びようとする力、自発性を育てることが大切です。

#### ～サポートの方法～

#### 心の安定

子どもはストレスに弱く、不安、反抗心、無力感などを生じやすい。子どもの話をよく聞く、一緒に遊ぶなどして、気持ちに寄り添い、心を安定させる。

#### 実行機能を使うトレーニング

実行機能は使うこと（トレーニング）で改善する。本来、子どもはできないことをがんばろうとするもの。その気持ちを妨げないことが大切。

#### 行動を変える

望ましい行動はほめ、望ましくない行動は止めるなど、行動を変える直接的なサポート。ただ、これだけでは不十分で、他のサポート方法と組み合わせるようにする。

#### 別の能力で補う

弱点を、他の能力で補う方法。例えば、聞き取りが苦手なら、メモを使って覚えるなど。

#### 環境を変える

照明や音などの環境だけでなく、声かけや指示などの働きかけや、学習教材などの情報環境も含む。スケジュールの図示は、その一例。

#### 道具を使って補う

弱点を、何かの道具を使って補う方法。例えば、パソコン、スマホ、タイマーなど。（ただし、道具の使い方は覚えなくてはならない。）